

美幌町小中一貫教育推進ビジョン（案）に対するパブリックコメント（意見公募）手続の実施結果

令和6年6月25日(火)から7月24日(水)までの間、「美幌町小中一貫教育推進ビジョン(案)」について、パブリックコメント(意見公募)手続を実施したところ、15件のご意見をいただきました。いただいたご意見の内容と、それに対する町の考え方及び回答を取りまとめましたので、次のとおりお知らせいたします。

No.	区 分	ご 意 見 概 要	町 の 考 え 方	回 答
1	美幌町が目指す小中一貫教育 義務教育学校による小中一貫教育	<p>子供人口の減少による小中一貫化については致し方ないと考えます。</p> <p>むしろ小中の9年間を通して「地域愛」を育むことが出来るのではと考えます。「地域愛」を持って美幌町を巣立ち、大きくなって帰ってくる、または他地域との太いパイプとなる人を育成できるよう望みます。</p> <p>その意味では美幌高校との連携も強く望んでいます。</p> <p>新設の場所については現美幌小学校が良いのではと思います。</p> <p>高台（比較的）の為避難所としての性質を持つこと。現在は稲美地区が生活の中心になっていますが、5～10年後の子どもの人口が同じく稲美に集中するのではなく、コンパクトシティ化により大通周辺に若年層が増えると考えます。</p>	<p>「地域愛」に係るご意見につきましては、「ふるさと教育」における教育課程の編成など、今後の小中一貫教育の推進のための参考とさせていただきます。</p> <p>義務教育学校の整備方針や整備場所等につきましては、今後策定する基本構想に盛り込む予定となっております。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後の小中一貫教育の推進及び基本構想策定のための参考とさせていただきます。ビジョンは原案のままさせていただきます。</p>

No.	区 分	ご意見概要	町の考え方	回 答
2	義務教育学校による 小中一貫教育	<p>義務教育学校、小中一貫校の設立の件ですが、まず第一に既存の美幌小学校と北中学校の校舎はせっかく建てたきれいな学舎を使用しないと言うのがひっかかります。</p> <p>子供たちからの評価も高い建築物です。学童保育やクラブハウスとして十分に活用の価値が有ればよいのですが、柏ヶ丘運動公園で活動するのであれば、新築ではなくむしろそちらの整備が大事なのではないかという気がします。</p> <p>私自身は道外の地方の小中学校でしたが、生徒数が多いので、学級崩壊、秩序が乱れたりと風紀の観点からあまり良いものではありませんでした。学級崩壊したクラスに在籍したり、イジメを断ち切ることができないままの学校生活は閉塞感も大いにありました。分割され、落ち着くと平和も戻って行くことにはなるのですが、それまでには大変な状態が続き、妹の在籍時にはイジメによる自殺もありましたが、イジメは無かったと新聞でも大々的に公認されました。</p> <p>現在は体罰も禁止ですし、秩序を維持する事が時として難しい場合もあります。</p> <p>旭小学校の様な生徒数で支援クラスと共生し、しっかり教育がなされる事は羨ましい限りです。</p> <p>北見の生徒さんの方が美幌の生徒さんよりも自立していないとも聞きますし、普段の授業も落ち着かないとも耳にします。</p> <p>プールの授業は、北見市民温水プールの割り当てで年度で美幌より少ない2回のみです。</p> <p>初期教育では美幌の方が格段に恵まれていると考えます。旭小学校の環境が維持されないのは非常にもったいない事です。コミュニティスクールの運営が上手く行っていない事はそこだけは残念ですが。</p>	<p>義務教育学校の整備方針や整備場所等につきましては、今後策定する基本構想に盛り込む予定となっております。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後の基本構想策定のための参考とさせていただきます、ビジョンは原案のままさせていただきます。</p>

No.	区 分	ご意見概要	町の考え方	回 答
		<p>学童保育に関しましても、地域によっては夏季休業中、プールが毎日使用可能で一般の小学生も無料で利用可能など福利厚生面での配慮がある場合が多々あります。</p> <p>北見ではお金を払う事でスイミングは上達しますが、美幌では学童保育でもプールの練習ができる、などの優遇策を考える事もまた大切なのではないかと感じる事の多い昨今です。</p> <p>校舎はある程度の仕切りや隔たりは長い目で見て必要なのではないかと考えます。同じ敷地内にありながら、別棟で形成されるスタイルの方が安全な事も有ります。</p> <p>イジメも規模が大きくなれば一つの学校ですと過ごさなければならぬ環境ほど苦痛な事はないと思います。そうでないことを願いますが、理想と現実は思うようにいかないものだという事を失念してはならないと考えます。</p> <p>義務教育プラスの追記となりますが、高校生活では北見の高校に行くのも当然の権利と考えますし見分を広げる意味では大切な事でもあると認識しております。</p> <p>しかしながら、経済的等何らかの事情で近場に進学せざるを得ない環境の生徒さんやアスリートとしてトレーニング環境に恵まれた美幌で通学時間分を心身の鍛錬や勉学の時間に費やす環境を提供するのもまた大事な事なのではないかとも考えます。</p> <p>ニセコ高校の例もありますし、義務教育学校に付随し、 「総合科」 病後や闘病中の生徒さん、支援級の生徒さん、不登校になってしまった生徒さんの在籍できる環境を提供する場が有っても良いのではと考えます。 「アスリート特科」 地域の有識者や運動指導者などから知識を得られ、トレーニングと学業の両立を目指す場を創っていただけると、逆にそれを求めて安い学費でと願う方も道内にはまだまだいらっしゃると思います。</p>		

No.	区 分	ご意見概要	町の考え方	回 答
		<p>両科とも、ICTスキルと受験可能体制でセカンドキャリアを視野に入れたキャリアアップを目指す場として、オンデマンド形式や選択制にして自由度を高め、よりフレキシブルな学生生活を支援するもので有れば尚よいのでは？と思いますし、地域のコミュニケーションの場として、新しいコミュニティスクールの在り方も進化させ、既存の交流以外にも、就労外国人と接する場を設けたり、国の事や言葉を知る良いきっかけも新しく創造出来れば素晴らしいと思います。</p> <p>どこでどのような課外授業（部活）が行われるのがスムーズである等も含め、より効率的な学校構築が行われる事を願います。</p> <p>旭小学校の跡地は整備してもう一度美幌高校とグラウンドにするなど、自衛隊駐屯地と近すぎる現状も改善するとよりスムーズなのでは？など引かかるものがあります。プールを解体する事で農業科に必要な設備を配置できるスペースも出来ますし、何より各学校の卒業者がそれならば歓迎する、というスタイルで是非取り組んで頂きたいものです。</p> <p>網走市の義務教育の一貫校はどういった評価なのかも気になります。</p> <p>ユースホステル跡地に札幌のインターナショナルスクールのサマースクールキャンプを誘致して外部からも受け入れ、学童などを通じて交流を持たせたりと言ったグローバル化も有りなのではないかと考えます。</p> <p>千歳、丘珠、羽田、成田、関空からのアクセスが良い女満別空港から程近い美幌ですので、もっと活用のアイデアを持っていただくととても過ごしやすい場所とも思います。</p> <p>学童、児童共の福利厚生施設として小さなウォータースライダー付きのプールもユースホステルや柏ヶ丘運動公園・みどりの村との地域の中に一つ持つてくる事の意義も増すと思います。広義では義務教育学校に関連した施設ととらえられます。お台場に在ります義務教育学校も区民プールを兼ねております。</p>		

No.	区 分	ご意見概要	町の考え方	回 答
3	義務教育学校による 小中一貫教育	<p>①新学校は旧校舎を使用するような案も存在しますか？</p> <p>②5校を1校にする その場所（立地）は決まっているのでしょうか？</p> <p>③全町の小中学生が1校に集まるため、スクールバスも多く集まると思われる。美幌小学校や東陽小学校だと、その場所自体確保できない。現在、旭小学校と美幌中学校は、ほぼ隣り合わせだし、その間の、マナセンや勤労者体育館、グラウンドも美幌町所有物だから「美幌中学校、旭小学校、マナセン、勤体」を学校エリアにして使えるものは使い、必要なものを建てるというような集約したエリアにしてはどうか？マナセン機能は美幌小学校か、東陽小学校か、北中に移転。また、図書館も同様に上記3校に移転。</p> <p>④特別支援の児童や生徒は、同じ新校舎で学ぶ予定でしょうか？</p> <p>⑤開校検討委員会はどなたがなる予定でしょうか？</p> <p>⑥最終的に5校が1校になることについては異論は無いが一気にやることについては、異論がある。</p> <p>まず、中学校を統一してはどうでしょうか？</p> <p>それこそ、旭エリアを再開発するのであれば、その間北中校舎にて、美幌町の全中学生を学ぶようにし、中学校の統一から始め、旭小学校も、小学校2校時代に戻り、美幌小学校と東陽小学校に一時的に振り分け徐々に集約することを提案いたします。</p> <p>ハード面よりも、教員を含めた、その学校学校のやり方や進め方があるからです。</p> <p>最終的に1校にする前に、丁寧に集約することが最善だという結論になりました。</p>	<p>義務教育学校の整備方針や整備場所等につきましては、今後策定する基本構想に盛り込む予定となっております。</p> <p>なお、学校形態に関しましては、少子化による児童生徒数の減少に伴う諸課題を解決するため、小中学校9年間を見通した切れ目のない教育の推進と持続可能な教育環境の確保を目的とした「施設一体型の義務教育学校1校による小中一貫教育の導入」を目指して取り組んでまいります。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後の基本構想策定のための参考とさせていただきます。ビジョンは原案のままさせていただきます。</p>

No.	区 分	ご意見概要	町の考え方	回 答
4	義務教育学校による 小中一貫教育	<p>小中一貫教育を目指す義務教育学校の開校は「美幌町の未来を担う人間性豊かな子どもを育む」最強の学校となると確信しております。</p> <p>現在、人口減少が現実となっている中、コンパクトな街づくりが求められます。また、出生数の減少により児童生徒は各学年とも現在の40人学級2クラスでも余る状況です。</p> <p>地域の子どもは学校と地域で育てるの考えのもと、街の中心で「美幌町学校教育発祥の地である美幌小学校の現校舎」を活用し、不足する教室を増設するなかで施設一体型の学校として開校することが望ましいと考えます。</p> <p>なお、9学年の教育活動が同時進行するなかでグラウンドと体育館での授業が難しい場面が出るのが考えられますが、その時は義務教育学校専用バスで移動して現在の北中学校グラウンドと体育館を活用することで解決できます。</p> <p>したがって、郊外に学校を建設するのではなく既存の施設である美幌小学校24教室プラスαの教室（校舎）で素晴らしい教育活動が推進されることを切に願います。</p>	<p>義務教育学校の整備方針や整備場所等につきましては、今後策定する基本構想に盛り込む予定となっております。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後の基本構想策定のための参考とさせていただきます。ビジョンは原案のままさせていただきます。</p>
5	義務教育学校による 小中一貫教育	<p>小中一貫教育の導入は少子化の現状を考慮すると選択肢の大きな一例だが、人口減少が現実化している美幌町の「街づくり」は出来るだけコンパクトにし、行き届いた住民サービスを目標としなければならない。</p> <p>従って、郊外に施設を建設するのではなく、既存の校舎を生かす「施設一体型」（美幌小学校を拠点校とし、サブ校として北中学校活用）とするのが理想と思う。</p>	<p>義務教育学校の整備方針や整備場所等につきましては、今後策定する基本構想に盛り込む予定となっております。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後の基本構想策定のための参考とさせていただきます。ビジョンは原案のままさせていただきます。</p>

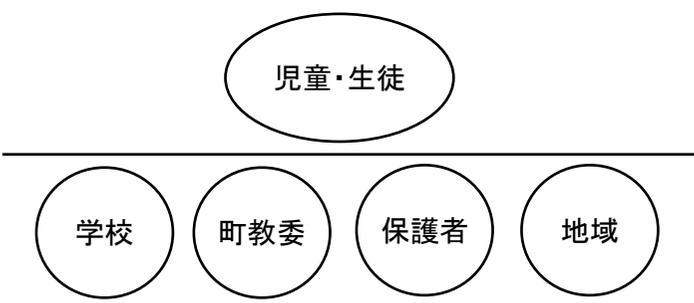
No.	区 分	ご意見概要	町の考え方	回 答
6	美幌町が目指す小中一貫教育	<p>育成したい資質・能力のカテゴリーは、弊社が目指す教育事業にどれもマッチングしていますので、今回をチャンスと捉え、推進して良いと考えます。何をやるにも善悪があります。決めたことをいかに真っ直ぐ進められるかが鍵だと思っています。</p> <p>また、我々、独自の調査や実践値からわかってきた将来のビジョンともマッチングしていますし、共有しながらサポートができると感じています。教員の先生や学校全体、教育委員会と連携し、「ビジネス」「起業家精神=entrepreneurship」「経営」「社会性のある事業構築」などの視点から、答えのない問いに向き合う力を育成するプログラムやプロジェクトを通して、学校教育に関わることができると考えています。</p> <p>とりわけ、向上心、チャレンジ精神、コミュニケーション力、主体性、協調性、ダイバーシティ、夢実現、問題解決能力、ICT活用など幅広いプログラムをご一緒することが可能です。</p> <p>地元企業として、あるいはオホーツク初の教育の形を創造する私たちとの意見交換会なども開きつつ、行政や学校だけでなく、町民を含む皆で実現に向けて動いていきたいです。民間のできることをやろうと思います。バラバラに動くのではなく、ワンチームになって推進にサポートさせていただきたいです。</p>	<p>行政と地域との連携のあり方などに係るご意見につきましては、今後の小中一貫教育の推進のための参考とさせていただきます。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後の小中一貫教育の推進のための参考とさせていただき、ビジョンは原案のままさせていただきます。</p>
7	義務教育学校による小中一貫教育	<p>小中一貫教育推進ビジョン（案）については、異論がありませんが、今後、基本構想策定、開校検討委員会の中で留意して頂きたい点を列記します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼および高との連携 ・ 地域の核としての位置づけ ・ 英語教育に関し、ニュージーランド（ケンブリッジ）との1年単位での交換留学 ・ 施設一体型の校舎建設に関し、有名建築家にユニークな設計を、ということではありませんが、生徒や先生方との意見交換を密にし、設計コンペとか木造建築とか、十分な検討を。 	<p>義務教育学校の整備方針や整備場所等につきましては、今後策定する基本構想に盛り込む予定となっております。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後の基本構想策定のための参考とさせていただき、ビジョンは原案のままさせていただきます。</p>

No.	区 分	ご意見概要	町の考え方	回 答
8	義務教育学校による 小中一貫教育	<p>前提（現状把握）として、 まず、「時代の流れ」として、当面は、日本全体が「人口減少の流れ」で推移するコトは、イチバン確率の高い『統計データ』である「人口統計」を診ると、明らかである。それは、いまに始まったことでは無いことも、確かである。</p> <p>第二次世界大戦のあと、全てが焦土化されてシマッタ、日本。 昭和の後期（1950年頃）から、日本全体が、バブルの崩壊まで、何もかもが右肩上がりに「増加」していく…。それを前提に「社会制度や、建造物」を、ガムシャラに造ってきた。ある種「誰の為、何の為???」を置き去り！に、してきた…。</p> <p>そして、色んなトコロに、いわば『歪み』が、顕在化しているのが、いまの「失われた、30年（それは、平成の時代と、符合する）」といわれる、30年の期間そのアトである。だが、それを全て「否定する」のは、間違いである。</p> <p>この期間に、ゆとり世代という「自分で考え（られ）る、日本人」を成長させている。 が、如何せん???そんな、多感な世代を、大人の都合?で「就職氷河期」という、扱いにしてシマッタ。</p> <p>色んな「いじめ案件」を、見聞するに、その被害者は、基本、感性豊かな、ヒトであったりする。また、加害者と言われる「立場」のヒトも、親や教員の「不適切な対応」が無ければ、取り返しのつかない案件、それを引き起こさなかったはずである。</p> <p>一方では、製造業（農業を含め）、モノづくりの現場それを海外に求めるコトを『中央（主に、東京?』が、志向して、ますます「地方を、切り捨てる方向」へ進んでいる。為替レートが「円安」なのは、日本の価値が失われている、そして必要とされてイナイからである。※そんな場所で「産まれて来たくない」のは、少子!の理由である。</p>	<p>義務教育学校の整備方針や整備場所等につきましては、今後策定する基本構想に盛り込む予定となっております。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後の基本構想策定のための参考とさせていただきます、ビジョンは原案のままとさせていただきます。</p>

No.	区 分	ご意見概要	町の考え方	回 答
		<p>そんな中、文部科学省および、中央教育審議会が、「小中連携をススメ」それを答申した。 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/ikkan/1357575.htm 平成28年12月) 色んな「モノゴト」を、色んなレベル（立場）で考えるのは、大切なこと。 そんな情報を含めて、美幌町の「情報収集能力」は、高いのは良いこと。 ※だけど、中央で決まったことを「鵜呑み」的に追従する時代も終わっている。或いは、それをしているままでは、不要にされて、減んでいく場所になる。</p> <p>現状把握 その2 今回の「義務教育学校」という、名称について、調べて診た。 日本の義務教育学校一覧 https://ja.wikipedia.org/wiki/ 確かに、「義務教育学校」が設立される流れは、全道的に行われている。が、その自治会を「1つ」の、学校の校舎にまとめている、そんな市町村は無い。 オホーツク圏では、斜里町・湧別町・北見市で、事例があるが、それは、遠隔地の、ウトロ・芭露・おんねゆ地区での「統合」である。 先ず、美幌町（教育委員会）が「遣るべきコト」は、新に「統合した、校舎」を造ることでは、無く、孤立化している「子供たち」および「親世代」そして「教員」を、有機的に「連携」させるコト。 それは、美幌スタイル 独自のカタチを構築すること。 色んな横に連携をする、美幌スタンダード（基本形）とした、それを有機的に活用できる、美幌スペシャル（独自性）、それは、どんな状況にも負けない「対応力のある、人間」を創ること。</p>		

No.	区 分	ご意見概要	町の考え方	回 答
		<p>それと「リアルな、関係性」≡顔の観得る、人間関係を創り、それに拠る、郷土愛。</p> <p>それを「入れ物（建物）」を建てる前に、今あるモノ&地域のチカラ。</p> <p>それらを活かして、追求することが、地に足のついたカタチ。</p> <p>どうしても「建物を建てる、必要がある」なら、築50年を超えている？『図書館』の移転と、ソレに付随した、機能的な「新たな、建物」を、色んな協力を募り行うことだと考えてゐる。 以上。</p>		
9	義務教育学校による小中一貫教育	<p>旭小校区の子達にとっては新校舎は遠いと思うが、送迎バスやもーびーバスなどの利用をするという事でしょうか？急な体調不良や低学年だと行きしぶり、冬の除雪が大変な時など、やむを得ず休まなきゃいけない時の救済について（例えば補習受ければOK、オンラインで授業に参加できればOKなど）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旭校区にとっては多くの子供が通学するのに遠くなる可能性 ・バスに乗り遅れてしまった時は親だって仕事等があれば送れない可能性 ・自転車通学させる学年（しっかり交通安全について教育してからにしてほしい） <p>旭小の子供が自転車で移動すれば、車の交通量が多い所ばかりです。低学年は自転車通学禁止等、交通量と通学ルートをよく検討してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小6→中1へのギャップ。小中一貫で改善されるのかもしれないけど、小学校3校+中学校2校合わせての生活になり、個性が大所帯の中にうもれませんか？困っている子達やいじめられている子供へフォローがいきとどくように対応できるんでしょうか？ ・小中一貫となっても、外部の頼れる人達に頼って色んな経験をさせてほしい。 	義務教育学校の整備方針や整備場所等につきましては、今後策定する基本構想に盛り込む予定となっております。	いただいたご意見につきましては、今後の基本構想策定のための参考とさせていただきます、ビジョンは原案のままとさせていただきます。

No.	区 分	ご意見概要	町の考え方	回 答
10	義務教育学校による 小中一貫教育	<p>小中一貫教育の導入は少子化の現状からみても選択肢の一例であり、人口減少が現実の中でコンパクトな行き届いた住民サービスが必要とされます。</p> <p>少子化の影響により児童生徒数も減少傾向にあり、現在の40人学級2クラスでも余る状況です。</p> <p>学校形態として施設一体型の学校が必要だと思えます。</p> <p>現在の施設を活用していく中で教室の不足分の増設などを行っていく方策をとり、街の中心にある美幌小学校の校舎を拠点に開校することが望ましいと考えます。</p> <p>グラウンド・体育館での授業が難しい場面も考えられますが、現在の北中グラウンド・体育館の対応で解決可能と思えます。</p> <p>したがって、郊外に建設するのではなく既存の施設の美幌小学校をベースにプラス増設の校舎ですばらしい美幌の教育活動が推進されることを願います。</p>	<p>義務教育学校の整備方針や整備場所等につきましては、今後策定する基本構想に盛り込む予定となっております。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後の基本構想策定のための参考とさせていただきます、ビジョンは原案のままさせていただきます。</p>
11	義務教育学校による 小中一貫教育	<p>美幌町における、小中一貫教育の導入を考えるときに、第一に考えることは、家庭でも市町村でも同じで、町の財政状況を考えることと思えます。我が町の実質公債費比率は令和14年度約10.7%と見込まれ、令和4年度より4%上昇の見込みです。さらに町民税収入の約7割を占める給与所得者が、人口減少により町民税収入の減少が避けられない時代を考えると「施設一体型」は理想ではあるが、将来の子供達に、負の遺産を残す結果となることから選択肢から除外すべきと考えます。令和12年度の生徒数から考えると、現状の約30%弱の減少数であり、各学年のクラス数、特殊支援学級数、部活動による体育館及びグラウンドの利用を考え既設の美幌小学校及び、美幌北中学校の両校を使用した「施設分離型」（中学校区）が妥当と考えます。これからの「街づくり」は子育て世帯への支援を重点に、施策を検討していただきたいと思えます。</p>	<p>義務教育学校の整備方針や整備場所等につきましては、今後策定する基本構想に盛り込む予定となっております。</p> <p>なお、学校形態に関しましては、少子化による児童生徒数の減少に伴う諸課題を解決するため、小中学校9年間を見通した切れ目のない教育の推進と持続可能な教育環境の確保を目的とした「施設一体型の義務教育学校1校による小中一貫教育の導入」を目指して取り組んでまいります。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後の基本構想策定のための参考とさせていただきます、ビジョンは原案のままさせていただきます。</p>

No.	区 分	ご意見概要	町の考え方	回 答
12	美幌町が目指す小中 一貫教育	<p>・（案）の様な内容を実現する為には、学校現場のみではブラック化が進んでしまうかも知れません。「学校」「町教委」「保護者」「地域」が協力し合っていくのが大切だと思います。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>↑ 車の両輪で進んで行くのを4WDにしてパワーアップした感じ です（並び順は決まっています）。</p> <p>・新校舎を建てる場合は、クラファンの活用や使用しなくなった学校備品をネットオークションや即売会で販売して資金を集める方法もあると思います。（学校備品マニアもいますので）</p> <p>・（案）の9ページの（6）求められる教員像は具体的にどのように育成されるのでしょうか？</p> <p>・もっと学校へ町教育委員会は介入されて、様々な事を共有するのも大事だと思います。</p>	<p>「学校」「町教委」「保護者」「地域」の協力に係るご意見につきましては、今後の小中一貫教育の推進のための参考とさせていただきます。</p> <p>「求められる教員像」の育成につきましては、研修の機会や小中学校相互の学び合いを通して、教員の資質能力（使命感や倫理観、指導力や協働力など）の向上を図っています。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後の小中一貫教育の推進のための参考とさせていただきます、ビジョンは原案のままさせていただきます。</p>

No.	区 分	ご意見概要	町の考え方	回 答
13	美幌町が目指す小中一貫教育	<p>【全体像について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても理想的で実現していくといいなと思います。 ・人が増えることで体験の幅が広がる一方で、人が多くなることで対応できなくなる児童生徒への対応が気になる。 ・小中を一つにする要因は多数あると思いますが、一番の根本理由が見えてこない。 ・「社会に順応する子ども」と「社会を変えていく子ども」の育成と違う軸があると思いますが、この小中一貫ではこの軸をどのように考えているのか知りたい。 ・美幌町が教育の町としてパワーアップする貴重なタイミングだと思いますので応援しています。 ・小中一貫となるタイミングで関わる世代（現在未就学な家庭）からの意見がどのくらい反映されているのか気になります。今回のビジョンにその要素は入っていないと思っていますがどうでしょうか。 <p>【基本目標について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9年間を見据えた共通指導で社会を生き抜く力を育てる教育の充実とありますが、共通指導では無理があるからこそ学校に馴染めない子どもたちがうまれている現状はどのように捉え、どう解決していこうとしているのでしょうか。共通指導は子ども達よりも大人の視点が優先されているのではないかと思ってしまう。 ・学校に行って育っていくという環境づくりをしていると思いますが、それは選択肢が狭まり子どもの行き場がなくなっていくことにもならないでしょうか。そこをどうしていくのか曖昧にせず、対応策を知りたいです。 	<p>ビジョンでは、義務教育9年間において目指す教育の目的や子供たちの資質・能力を明示しており、現在未就学の家庭の皆様へは小中一貫となるタイミングでその理念を丁寧に説明し、共有したいと考えております。</p> <p>小中一貫教育の推進にあたって、各分野での課題や具体的な取組内容に関しましては、今後「（仮）開校準備委員会」を設置の上、専門の部会で検討を進める予定としております。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後の小中一貫教育の推進のための参考とさせていただきます、ビジョンは原案のままさせていただきます。</p>

No.	区 分	ご意見概要	町の考え方	回 答
		<p>【英語教育について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来の英語教育を進化させるのでしょうか。それとも、実用的な学習に変化していくものなのでしょうか。身につける力としては賛成ですが、従来の教育を少し発展させただけでは結局身につかないです。スピーキング、ライティング、リスニングなどありますが、なにを重点的に身に付けさせていくのでしょうか。 ・複数言語を話せる私からすると、外国語を話せるよりも前にコミュニケーションが重要です。そのコミュニケーション力をまずは重点的に身につけるような学習になって欲しいと願います。 <p>【生きる力について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この理想は分かります。だからこそ、子ども達にはわかる言葉に置き換えて自分がどんな力を身につけて生きていくのかをイメージできるようにして欲しいし、指導者もその共通認識をもって接して欲しい。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中1ギャップについて、確かに必要だと思いました。一方で、環境の変化に対応するための成功体験や失敗体験はどのようなタイミングで身につけるのでしょうか。大人がギャップ解消で環境を整えても、その手を離れる時が来てから経験してからでは遅いと思います。その対応策を示して欲しいです。 ・基本目標に「段差のない系統で…」とありますが、段差への対応はどうするのでしょうか？ ・グローバルはグローバルとローカルの相反する言葉をMIXしているように思います。理想は分かりますが、どっちつかずにならないでしょうか。どんな姿になっていくのかイメージが湧きづらいです。 		

No.	区 分	ご意見概要	町の考え方	回 答
		<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルによって育つ人物像のイメージがしづらいです。どこでどんなことをしているイメージとなるのでしょうか。 ・構想のスピードを上げられないのでしょうか。現在の対象世帯（小学～中学生）はほとんどが関わらなくなります。すると、関心度も薄れていくように思います。スピードを上げられない理由が納得できずにいます。 ・現在ある美幌町の資産（例えば充実している社会教育、他市町村から評価の高い福祉対応）をそれぞれの分野の特性を損なわずに融合することは考えていたりするのでしょうか。 		

No.	区 分	ご意見概要	町の考え方	回 答
14	美幌町が目指す小中一貫教育	<p>美幌町小中一貫教育推進ビジョン（案）を熟読させていただきました。新しく、町として教育に力を入れる取り組みと感じています。</p> <p>今日の小中学校の不登校児が30万人弱となりました。この背景に何があるのでしょうか？</p> <p>ひとくちに、「これだ」と誰もが説明できませんが、教育現場にいる者として、学習内容の詰め込み過ぎがあると思っています。子どもたちと教職員が、教わること・教えることに追われている。学ぶことが楽しくない、仕方なくやっている、受験のための学習をしているなどなど……。どうしたら子どもたちが、自ら学び、そしてそれを楽しいと思えるのかと模索する毎日です。</p> <p>しかし、以下の学習体系であれば、学びが楽しい子どもたちを育てることができると思っています。小中一貫を目指すのであれば、公教育を変えるチャンスと捉えてはどうかと思います。なかなか変化を好まない公教育で、美幌から新しい教育のスタイルを全国に発信する。そこで……</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「イエナ・プランの導入」 https://www.youtube.com/watch?v=aP_u62MA13Y オランダの教育です。子どもたちが学びたいことを学んでいく。ときには縦割り（1年生から9年生まで）で学習をしていく。 ・「体験を主軸とした学び」 https://www.youtube.com/watch?v=QhmJcROAXWg まおい学びの里の小学校。プロジェクトという体験型の学習を主軸として、学習を展開していく。 <p>現場の先生方の意見が大切だと思っています。末端の子どもたちと直に接している先生方と意見交換をして、新しい学校づくりをしてほしい。現場のことをきちんと知っている人と、学校づくりをしてほしい。教育は現場の力だと思っています。</p>	<p>教育現場の先生方との意見交換の重要性などに係るご意見につきましては、今後の小中一貫教育の推進のための参考とさせていただきます。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後の小中一貫教育の推進のための参考とさせていただきます、ビジョンは原案のままさせていただきます。</p>

No.	区 分	ご意見概要	町の考え方	回 答
15	義務教育学校による 小中一貫教育	<p>人口減少、少子化が進む中で小中一貫教育、義務教育学校も選択肢の一つだと思いますが、果たしてそれが本当に子どもたちにとって良いものかどうか、良い結果を生んでいるのか、文科省の言っていることを鵜呑みにして進んでよいものかどうか急がずもっと時間をかけて検証する必要はないのでしょうか。</p> <p>また、小中一貫校の校舎を新築されることを考えておられるようですが、人口減少、少子化で美幌町も2022年の出生数が70人、かなり希望的観測でこの先15年毎年同じく70人生まれたとして15年後小学校1年生から6年生合わせて420人、1学年1学級35人の2クラスで6年生まで入れて12クラス、中学校が同様に6クラスさらに特殊学級が6クラス必要だとしても24クラス、現在の美幌小学校の校舎で充分の規模だと思われます。部活等に必要な体育館やグラウンドも近くにある北中学校やトレセンやスポセンを活用すればよいことかと思えます。</p>	<p>義務教育学校の整備方針や整備場所等につきまして、今後策定する基本構想に盛り込む予定となっております。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後の基本構想策定のための参考とさせていただきます、ビジョンは原案のままさせていただきます。</p>